

平成26年度愛知県生涯学習審議会社会教育分科会の協議題について

1 協議題

「市町村における社会教育委員制度活用の課題と在り方について」

2 協議題設定の理由

- 社会教育委員は、教育委員会の諮問に対して意見を述べるとともに、さらにはこれらを行うために必要な調査研究を行うこととなっている。しかし、実際には、形骸化している市町村があり、社会教育委員による調査研究も実施されていないこともある。
- 社会教育委員が名誉職化し、長期にわたり在任する委員もめずらしくなく、その役割及び、社会教育制度について、委員自身の認識が十分ではなく、力が発揮できていないのではないかと。
- 超高齢社会、格差社会の到来による老老介護、人々のかかわりの希薄化、モンスターペアレント、孤独死、シニア世代の鬱病など、現代社会の喫緊の課題に対して、福祉部など首長部局の対応はあるが、教育委員会が社会教育として対応できていないのではないかと。
- 市町村社教委員数の減少、社会教育委員制度廃止市町村の出現など、社会教育委員制度の見直しがなされている現状がある。

3 協議の視点

- ① 社会教育委員会議の「マンネリ化」「形骸化」を防ぎ、現代的課題にスピード感をもって対応し、市町村施策に反映する社会教育委員制度のあり方
- ② 社会教育委員の研修のあり方
- ③ 社会教育委員の人選方法について

4 参考

- 愛知県豊田市は、平成26年度から社会教育委員制度を廃止し、市長部局で生涯学習審議会を起ち上げた。